

## サナ エジプト出身の元キリスト教徒（前半）：幼少期の疑

:

明: 的キリスト教徒の少女が自らの信仰に疑を抱き、クルアーンをみ始めます。

目: [事新改宗者ムスリムの逸 女性](#)

より: サナ

ED6 Oct 2014

集日 05 Oct 2014

サナは、い疑念と苦の旅路の末に、神が真の宗教へといたエジプト人キリスト教徒の女性です。以下は彼女による改宗です。

私は他のエジプト人キリスト教徒たちと同じように、狂信的キリスト教徒として育てられました。は私の宗教教育に力を注ぎました。彼らは日曜日の朝に私を連れて教会へ行き、牧師の手に口づけし、彼と礼拝を共にしました。私は彼が教会で三位一体の教をき、であれキリスト教徒でなければ、その人物は教徒神者であり、神によってめられることはしないと断言していました。

他の多くの子供たち同様、私は完全に理解することなく牧師のをき、教会から出るとすぐにムスリムの友人とびにったものでした。子供は牧師たちが人々の心に植え付ける憎について知らないものです。少し成長した私は、小学校に入りました。私はより多くのクラスメートの友が出来ました。私は学校で、ムスリムのクラスメートたちの美点について察していました。彼らは私を妹として接してくれましたし、彼らはして宗教上のいから差したりはしませんでした。に、私はクルアーンがムスリムたちに、ムスリムと争わない非ムスリムたちに切に接し、彼らがイスラームに改宗し不信仰から救われるよう促しているということを知りました。全能なる神は、クルアーンにおいてこう述べています。



女性と同僚になり、彼女は私の 友を思い起こさせました。近くのモスクからアザ ンの  
声が こえる度に、私はいつも心の奥底で自分が依然として非ムスリムであること、そ  
して教会 者の妻であることに 明の出来ない感情を抱いていました。

日々が ぎ、洗 された性格を持つ敬虔なムスリム女性の同僚として、私はイスラ ムの真  
理について考え始めました。私はイスラ ムとムスリムについて教会で いたことと、自  
分で に きし、感じたことを比 しました。私はイスラ ムの真理を し始めていました。私  
は夫の留守中、イスラ ムに するラジオやテレビ番 をつけ、私を ませていた多くの疑 に  
ついての答えを つけ出そうとしていました。私はムハンマド リファ ト 、アブドル=バ  
スイト アブドッ=サマド による クルア ン朗 の魅力に心を われました。彼らの朗 を くと  
、私はクルア ンが人 によるものであるはずがなく、神による 示であると感じました。

ある日、夫の仕事中、私は震える手でクロ ゼットを け、私の宝物である クルア ンを取  
り出しました。それを くと、次の章句が目に入りました。全能なる神はこう述べるの  
です。

“??  
”???????3?59?

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/1180>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2024 IslamReligion.com. 断 を禁じます。